

千葉県社保協通信

2023年度—No9 2023年 11月 21日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

受療権を守るため
国民皆保険制度を守るため

さらに広げよう
「保険証を残そう！」の声

「保険証を残そう！オールちばの会」キックオフ集会

11月19日、「保険証を残そう！オールちばの会」が結成されました。

「現行の健康保険証を守る」の1点で県内の運動をすすめるため、5団体(千葉県保険医協会・社会保障推進千葉県協議会・千葉土建一般労働組合・年金者組合千葉県本部・千葉県民主医療機関連合会)で9月に準備会を立上げ、キックオフ集会を迎えました。

会場となった千葉県弁護士会館の講堂は、満席の160人。オンラインを含め200人超が参加。

「保険証を残そう」の声をさらに大きく広げようとの熱気にあふれました。(写真右下)

午前11時から、千葉駅前「オールちばの会」を準備してきた5団体と千葉市革新懇が共同して宣伝行動に取り組みました。

宣伝隊は2頭の怪獣を先頭に36人。親子連れをはじめ道行く人の関心を引き、用意した署名ハガキ入りのティッシュ1000個を1時間で配り切りました。「岸田首相はあまりに強引だ」とその場で「現行の健康保険証残してください」の署名に応じる人も。

シール投票は保険証廃止「反対」33に対し、「賛成」1でした。



▼午後2時からのキックオフ集会は、吉川恵子県保険医協会事務局長が司会を務め、岡野久県保険医協会会長のあいさつで開会しました。

医療現場から武田浩一氏(医師)、保険者の立場から栗原厚氏(千葉土建)、法律家の立場から田村陽平氏(弁護士)がそれぞれ発言しました。

つづいて経済ジャーナリストの荻原博子氏が「現行の保険証を残そう！マイナ保険証の罠」をテーマに講演。「政府は今後900億円をかけてマイナカードの利用率をアップしようとしている」との指摘もありました。

さらに荻原氏がコーディネーターを務め、シンポジウム形式の質疑応答。会場からの医療現場でカードを導入している医師からの生々しい実態報告には驚きの声があがりました。チラシを見て参加した方からの「なんとしても私たちの運動で、保険証廃止を中止させなければ」の発言に、大きな拍手がわきました。最後に「会」の結成と今後のとりくみが提案され、拍手で確認されました。(裏面参照)

